

ひまわり



令和元年7月1日(月)

道徳的に生きる



文月となり、今年も一年の折り返しを迎えました。ややもすれば、だらけてしまっている自分に渴を入れ、年初の志を思い起こし、残り半年をそれぞれの目標に向かって努力をしていきたいものです。

先週は、G20で学校は臨時休業でしたが、金曜日に思わぬ来客がありました。大阪府味噌工業協同組合の理事長も務められた、肥塚味噌前社長の肥塚憲造氏でした。以前からお世話になっており、年に数回お会いし、いつも良い刺激をいただく方です。

全国的にも味噌製造業者は減少の一途をたどり、大阪府においては7社のみになってしまったとのこと。そんな中、リーマンショックなどの不況の時期も乗り越え、生き残ってきた肥塚味噌には、生き残っただけの理由があると感じています。それは、肥塚氏との会話の節々に感じるところです。

商売で生計を立てる。また、従業員とその家族も養っていかなければならない。そのためには、利潤追求はとても大切なことです。それでは、儲けるためには何をしてもよいのか。肥塚氏は商道徳として、次のことを強調されています。「商売においては売り手と買い手が満足するのは当然。加えて社会に貢献できてこそよい商売といえる」。これは、近江商人の経営哲学である「三方よし」と言われるものです。これを、ぶれずに実践してこられた方です。

また肥塚氏は、いつも道徳的な生き方の大切さを強調されます。「人の幸せを願っているか」「良い行いについて言行一致であるか」「悪意のある思いは抱いていないか」など。このような正しい思いと実践によって、他者も自分も幸せになれるのだ、と思うばかりです。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>